



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社くふうカンパニー 上場取引所 東
コード番号 4376 URL <https://kufu.company/>
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 菅間 淳 TEL 03-6264-2323
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	11,515	△27.1	343	△78.7	249	△83.3	4	△99.2
2023年9月期第3四半期	15,789	18.7	1,608	59.9	1,497	61.0	573	145.0

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 3百万円 (△98.8%) 2023年9月期第3四半期 305百万円 (—%)
EBITDA 2024年9月期第3四半期 1,133百万円 (△52.6%) 2023年9月期第3四半期 2,389百万円 (34.8%)
「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものであります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	0.08	0.08
2023年9月期第3四半期	10.04	10.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	17,453	10,333	57.5
2023年9月期	20,973	11,596	48.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 10,030百万円 2023年9月期 10,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,000	△21.9	700	△62.8	1,800	△38.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ゴールドエッグス、

除外 4社 (社名) 株式会社K-コンサルティング、くふう少額短期保険株式会社、株式会社スペースマゼラン、OMソーラー株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	64,177,595株	2023年9月期	58,301,719株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	3,892,849株	2023年9月期	292,268株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	59,785,942株	2023年9月期3Q	57,116,225株

(注) 当社の一部の連結子会社は、株式給付信託型ESOPを導入しており、株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは“「くふう」で暮らしにひらめきを”を経営理念とし、「毎日の暮らし」及び「ライフイベント」において、生活者であるユーザーにとっての利便性や豊かさを最優先に考え、情報格差の解消や利便性の高いサービスづくりに取り組むとともに、ユーザーの主体的な意思決定や行動に繋がる価値提供を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は11,515百万円（前年同四半期比27.1%減）、営業利益は343百万円（前年同四半期比78.7%減）、経常利益は249百万円（前年同四半期比83.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円（前年同四半期比99.2%減）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の分析は変更後の区分に基づいております。

<毎日の暮らし事業>

当事業は主に、株式会社ロゴガイドによるチラシ・買い物情報サービス「トクバイ」、株式会社くふうAIスタジオによるオンライン家計簿サービス「Zaim」等の事業で構成されております。

当第3四半期連結累計期間において、「トクバイ」導入店舗の開拓においては、有料掲載店舗数が減少し、ユーザー数は伸び悩みましたが、小売りの情報掲載業態の拡大と情報の網羅性向上に注力し、サービス登録店舗数が増加しました。また、ユーザーの購買行動等の具体的な生活行動に繋がる価値提供を目指し、「メディア」重視から「毎日の暮らしに役立つツール」重視へ戦略を転換したことに伴い、暮らしに関する総合情報メディア「くふうLive!」を事業譲渡いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における毎日の暮らし事業の売上高は2,296百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益は490百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

<ライフイベント事業>

当事業は主に、株式会社くふう住まいコンサルティングによる各種コンサルティング事業及び自社施工事業、株式会社くふう住まいによる住宅・不動産専門メディア及び相談サービス、事業者向けSaaSツール、買取再販・仲介サービス等の住まい領域の事業、並びに株式会社くふうウエディングによるウエディング総合情報メディア、結婚式プロデュースサービス等の結婚領域の事業で構成されております。

当第3四半期連結累計期間において、住まい領域は、株式会社くふう住まいコンサルティングが提供する各種コンサルティング事業及び自社施工事業については、厳しい市況の中、商材やウェブ集客支援の強化など会員工務店の施行受注支援に注力するとともに、不採算事業の整理を進め、収益力強化に努めました。株式会社くふう住まいが提供する不動産会社向け営業支援SaaSツールは堅調に販売が推移しました。また、相談サービスのイェタテ事業は成約数の増加が収益に寄与したことに加え、足元では新店舗が順調に立ち上がり、相談件数も増加しております。なお、OMソーラー株式会社の株式譲渡を実施し、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。結婚領域は、メディア事業は収益力強化に向けて商材拡充を推進し、結婚式プロデュース事業は施行や受注が増加傾向となり、通期での黒字化に向けて概ね計画通り進捗いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるライフイベント事業の売上高は6,656百万円（前年同四半期比23.7%減）、営業利益は320百万円（前年同四半期比26.2%減）となりました。

<投資・インキュベーション事業>

当事業は主に、当社や株式会社くふうキャピタルによる投資事業、株式会社Seven Signatures Internationalによる富裕層向けコンサルティングサービス、株式会社キッズスターによる子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」、株式会社くふうしずおかによる地域情報メディア・サービス、株式会社RETRIPによる旅行・おでかけメディア「RETRIP」、株式会社ゴールドエッグスによるスポーツ型のアミューズメントパーク施設「ニンジャ☆パーク」の運営等で構成されております。

当第3四半期連結累計期間において、投資事業については、当社グループの企業価値を高める出資及びM&A等の検討を継続して進め、保有株式の一部売却を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における投資・インキュベーション事業の売上高は2,803百万円（前年同四半期比41.1%減）、営業利益は390百万円（前年同四半期比72.9%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,453百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,519百万円減少しました。これは主にその他流動資産が1,893百万円増加した一方で、現金及び預金が4,949百万円減少したことによるものであります。

負債は7,120百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,255百万円減少しました。これは主に短期借入金が362百万円、1年内返済予定の長期借入金が322百万円、未払法人税等が342百万円、長期借入金が882百万円減少したことによるものであります。

純資産は10,333百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,263百万円減少しました。これは主に資本剰余金が979百万円増加した一方で、自己株式が1,075百万円増加（純資産は減少）、非支配株主持分が1,218百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年9月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,405	4,455
売掛金	1,129	839
商品	321	57
仕掛品	185	294
原材料及び貯蔵品	6	15
販売用不動産	1,232	1,243
営業投資有価証券	1,334	1,360
その他	525	2,419
貸倒引当金	△18	△32
流動資産合計	14,122	10,653
固定資産		
有形固定資産	669	438
無形固定資産		
のれん	3,591	3,627
その他	794	939
無形固定資産合計	4,386	4,567
投資その他の資産		
投資有価証券	627	569
繰延税金資産	614	700
その他	780	614
貸倒引当金	△226	△89
投資その他の資産合計	1,795	1,795
固定資産合計	6,851	6,800
資産合計	20,973	17,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	823	565
支払備金	4	—
責任準備金	5	—
短期借入金	2,272	1,910
1年内返済予定の長期借入金	997	674
未払法人税等	457	114
契約負債	1,259	1,519
賞与引当金	11	—
ポイント引当金	4	4
訂正関連費用引当金	45	45
事業整理損失引当金	—	13
その他	811	624
流動負債合計	6,693	5,472
固定負債		
長期借入金	2,079	1,196
資産除去債務	129	89
繰延税金負債	32	46
株式給付引当金	101	87
退職給付に係る負債	21	—
役員退職慰労引当金	41	—
その他	274	227
固定負債合計	2,682	1,647
負債合計	9,376	7,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	13	30
資本剰余金	8,452	9,431
利益剰余金	1,739	1,744
自己株式	△132	△1,208
株主資本合計	10,073	9,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	18
為替換算調整勘定	9	14
その他の包括利益累計額合計	△4	32
新株予約権	10	3
非支配株主持分	1,517	298
純資産合計	11,596	10,333
負債純資産合計	20,973	17,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	15,789	11,515
売上原価	8,194	5,440
売上総利益	7,595	6,074
販売費及び一般管理費	5,987	5,731
営業利益	1,608	343
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	—	16
受取保険金	17	1
その他	17	18
営業外収益合計	36	37
営業外費用		
支払利息	36	28
支払手数料	46	20
貸倒引当金繰入額	—	20
為替差損	1	—
持分法による投資損失	44	55
その他	19	6
営業外費用合計	147	131
経常利益	1,497	249
特別利益		
事業譲渡益	—	51
子会社株式売却益	—	38
株式給付引当金戻入益	17	6
移転損失引当金戻入益	51	—
その他	3	3
特別利益合計	72	98
特別損失		
固定資産除却損	3	33
減損損失	9	29
事業整理損失引当金繰入額	4	33
事業整理損失	10	6
訴訟関連損失	9	7
その他	11	8
特別損失合計	48	118
税金等調整前四半期純利益	1,521	229
法人税、住民税及び事業税	606	228
法人税等調整額	196	34
法人税等合計	803	262
四半期純利益	717	△33
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	573	4

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	717	△33
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△412	31
為替換算調整勘定	0	5
その他の包括利益合計	△412	36
四半期包括利益	305	3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161	41
非支配株主に係る四半期包括利益	144	△37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	毎日の 暮らし事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベー ション事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,257	8,710	1,900	12,868	54	0	12,924
その他の収益	—	10	2,855	2,865	—	—	2,865
外部顧客への売上高	2,257	8,721	4,755	15,734	54	0	15,789
セグメント間の 内部売上高又は振替高	18	5	6	31	135	△166	—
計	2,275	8,727	4,762	15,765	189	△165	15,789
セグメント利益又は損失 (△)	645	434	1,442	2,522	△149	△764	1,608

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内外向け技術支援等で発生した売上高及びセグメント利益又は損失(△)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益519百万円及び全社費用△840百万円、のれんの償却額△443百万円、未実現利益の調整0百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるハイアス・アンド・カンパニー株式会社がOMソーラー株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、ライフイベント事業セグメントにおいて、のれん230百万円が発生しております。また、当社が株式会社RETRIPの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、投資・インキュベーション事業セグメントにおいて、のれん489百万円が発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	毎日の 暮らし事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベー ション事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	2,083	6,653	1,377	10,115	—	10,115
その他の収益	—	1	1,398	1,399	—	1,399
外部顧客への売上高	2,083	6,655	2,776	11,515	—	11,515
セグメント間の 内部売上高又は振替高	212	0	27	241	△241	—
計	2,296	6,656	2,803	11,756	△241	11,515
セグメント利益	490	320	390	1,201	△858	343

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益657百万円及び全社費用△1,024百万円、のれんの償却額△464百万円、未実現利益の調整△27百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の見直しを行い、従来「その他」に含まれていた関連会社に対する経営支援等について、「投資・インキュベーション事業」のセグメントの区分に変更しております。また、第2四半期連結会計期間より、経営管理区分の見直しを行い、「毎日の暮らし事業」に計上していた株式会社キッズスター及び株式会社くふうしずおかの事業、「ライフイベント事業」に計上していた株式会社Seven Signatures International及び株式会社ゴールドエッグスの事業を「投資・インキュベーション事業」のセグメントの区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、これらの変更を反映したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるハイアス・アンド・カンパニー株式会社が株式会社ゴールドエッグスの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、ライフイベント事業セグメントにおいて、のれん568百万円が発生しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月25日付で、株式会社くふう住まいを割当先とする第三者割当による新株式の発行（現物出資）を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ861百万円増加いたしました。なお、同日付で資本金及び資本準備金の額の減少（減資）を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ861百万円減少し、その他資本剰余金が1,722百万円増加しております。

また、新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金が16百万円、資本準備金が16百万円増加しております。

さらに、2023年11月14日及び2024年2月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,505,600株の取得等を行い、自己株式が1,075百万円増加いたしました。

加えて、当社連結子会社であるハイアス・アンド・カンパニー株式会社及び株式会社RETRIP等の株式を非支配株主から追加取得したこと等により、資本剰余金が753百万円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が30百万円、資本剰余金が9,431百万円、自己株式が1,208百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	290百万円	289百万円
のれんの償却額	490	500